

多摩市立図書館本館再整備基本設計市民説明会 第3回 質疑応答口

会場：図書館本館 閲覧室

日時：令和元年7月13日（土）14時から16時まで

参加者：41人

No.	意見・質問	回答
1	説明会の実施方法について、3回の参加定員は155人であるが、この人数で十分に聞いたという判断か。	市民説明会は平日夜2回、土曜午後1回という回数で足りるのかということについて、どこまでやれば十分かというお答えは持っていません。しかしながら、様々な制約がある中で、集まっていた市民の皆さんと意見交換をしたいと思い、催したものです。
2	説明の中で弱者に対する言葉が出てこなかった。車イスの方や高齢者など弱者への配慮について、どのような形で設計されているか。	車イスの方が車で来館される際には思いやり駐車場を用意しています。1階のレンガ坂から来た場合もサービスデスクから入口が見えるようになっているので、何かあれば職員が対応できます。また、利用者用に地下から2階までをつなぐエレベーターを整備します。書架配置については、書架間を広めに設定し、車イスの方が人ともすれ違える幅を確保します。視覚障がいの方に対しては、敷地境界から館内のサービスデスクまで点状・線状タイルを設置し誘導できるようにします。1階に障がい者サービスコーナーを置き、点字図書の利用や朗読室も設置します。
3	大池の側であるため、湿気が気になる。ドライエリアがないように見えるが、図書にとっては湿気を避けたいところだと思う。大丈夫か。	土に面している部分について、1階は空間を設けており設備機械室を兼ねた二重壁を設置します。MF階も二重壁を設置し、水や湿気を遮断することを考えています。書庫自体にも一定の空調を入れ温度や湿度を管理します。外気に面していると外の温度に影響されやすいですが、地中は温度が一定のため、湿気にさえ気をつければ物の保管には適しているため、うまく利用していきたいと思えます。
4	駐輪場について、現在は駅から離れているため、本館を利用する者のみが駐輪していると思うが、新しい図書館は駅の近くになる。図書館来館者ではなく通勤者や買い物客が使うことへの対策はするのか。	新本館は、駅から近くなるので、通勤通学の際に自転車を置かれる方がいるかもしれないし、放置自転車の心配もあります。そのため、機械式駐輪設備の設置や駐輪時間が一定を超えた場合は有料にする等の対策も検討しなくてはならないと認識しています。
5	太陽光パネルについて。パースを見たところ軽い屋根に見えるが、太陽光パネルを置くことは現実的なのか。	屋根は勾配屋根になっていて、東側に太陽光パネルを載せる計画です。鉄骨構造の軽やかな屋根に太陽光パネルを載せることとなりますが、類似の施設を設計した経験もあるので安心していただきたいと思えます。また、建物内を明るく空間にするために屋根から太陽光を入れますが、直射日光は図書を傷める可能性があることから、反射光だけが建物内に入ってくるようにしたいと思っています。
6	市民の今後の意見集約について。模型を本館に展示し、今日の説明資料を配布またはホームページで閲覧できるようにする等して意見の集約ができるようにしてほしい。	模型については、見直し・修正作業が終わりましたら、展示したいと思えます。多くの方に見ていただければ幸いです。
7	わずか3回しか開催されないのにも関わらず、図書館ホームページへの掲載が第1回の説明会の前日だった。早めの掲載をお願いしたい。	図書館ホームページについてはご指摘のとおり7月3日の掲載になってしまいました。お詫びします。なお、ワークショップ参加者の方々にはできるだけ早くお伝えしたかったので、予定であることを前提として6月8日にお知らせしました。一般向けには市のホームページとたま広報へ6月20日に掲載しました。

No.	意見・質問	回答
8	閉架の収蔵冊数が30万から40万冊というのは非常に少ない気がする。多摩市は本の廃棄を進めており、その理由が貸出回数が少ないからという即物的な理由である。図書館行政の中心に何を据えているのか、見えてこない。きちんとした哲学を持ってほしい。	基本計画の中で様々な議論を経て決定した数字が30万冊です。我々も限られた面積の中でなるべく多く収蔵できるようにしたいと思っていますが、収納できる冊数限界まで入れてしまうと本を取り出しにくくなるので、大目の30～40万冊に設定して準備を進めています。除籍は廃棄基準や除籍基準を定め、それらに基づいて行っています。現在は貸出の回数や汚破損の状況、閉架書庫の状況を見ながら作業を進めています。新本館は収蔵冊数も増えるため、今回のご意見を踏まえて対応を考えたいと思います。
9	設計の説明について。多摩市は高齢者が進んでいるので、なるべく横文字を使わないでほしい。コモンズ、サテライト、Wi-Fi、PC等わからない人がいると思う。横文字を使わないで具体的な言葉で説明したほうが良い。	今後、なるべく注意します。
10	2階の「へなそうる」とは何か。	児童書の「もりのへなそうる」という本があり、著者の渡辺茂男さんは、すでに亡くなられています。桜ヶ丘に住んでいた方です。渡辺茂男さんは桜ヶ丘団地が開発されたところに引っ越してきており、多摩市に森や林があった頃から住んでいました。そのような多摩の風景を見ながら「もりのへなそうる」を書かれました。渡辺茂男さんは多数の著作・翻訳があり、亡くなられた際にご家族の方から多くの資料などを寄贈していただきました。現本館1階の「へなそうるのへや」に展示しています。新本館では「へなそうるのへや」を充実させた形で設けたいと考えています。
11	外皮性能向上とはどういう意味か。	外皮とは、建物の壁など外部に接しているところを人間の皮膚になぞらえたものです。主に熱や光と言った負荷が入ってくるところ、ガラスのところにあたります。ガラスの性能は上がっており、紫外線カットや音の遮断、温度負荷も和らげるなどの効果があります。費用の問題もありますが適材適所で使用し、建物の光熱費がかからないような建築を目指していきたいと思っています。
12	天井の照明と間接照明についてはあたたかみのある電球色のLEDを使用してほしい。デスクの上の照明ははっきりした昼光色でも良い。	広場のような雰囲気や公園との連続性を考えるとあたたかみのある照明が良いと考えています。その一方で、じっくりを勉強をする人や色が変わって見えてしまうと良くない場所では適材適所で照明の設計をすすめていきたいと思っています。
13	おはなし室について。へなそうるのへやは大人が見るような展示スペースのイメージであるが、それがおはなし室と一体になっていることに疑問を持った。別の部屋になっているのか伺いたい。おはなし室がガラス張りで開放的というのが強調されていたが、外界から遮断されることでおはなしの世界に入ることができ、他のものが見えると気が散ってしまう。ガラス張りでも外と行き来ができるが、おはなし会を開催するときは見えないようにしてほしい。	親子が一体となって広場として使える図書館を目指したいと考えています。へなそうるにある本は子どもも大人も見られますので、広場系開架と連続してつながっていければと思っています。 おはなし室にはへなそうるを経由しなくても入れるように、ふたつの動線を作っています。 おはなし室についてガラス張りにして開放的にしたいという意見もありますが、きちんと暗転できるようなしくみも設けたいと思います。

No.	意見・質問	回答
14	市民活動室について。自分たちも勉強会、講座の開催しているが、部屋が大きい気がする。また、ガラス張りで中が見えるようになっているが、おはなし会の際はカーテンを閉めるようにしているが対応しているか。また、少人数で使用する際は仕切り等で区切れるようになっているか。	市民活動室は、中で何をしているかが分かり、お互いに見る・見られるの関係があったほうが良いと考えています。但し、暗転して使えるようにカーテンやブラインドなども検討したいと思います。市民活動室には可動間仕切りを設置して2つに分けられるようにし、大・中・小のイベントに対応できるようにする予定です。
15	おはなし室について、おはなし会の小道具をしまう場所がほしい。	小道具などのものを置くスペースについては、実施設計の中で検討したいと思っています。
16	財源・税収について配慮された計画になっているか。	工事費は基本計画の中で40億円を予定しています。基本設計においていくらになるのかは精査中ですが、40億円程度の歳出が見込まれているところです。その財源として、西愛宕小学校の売却費用の20億円を図書館の建設に充て、同じ教育目的の費用として資金を循環させたいと思います。維持管理経費についても精査中ですが、建物に関するもの、人件費に関するものなどが必要になることから、できるだけ軽減できるように検討していきたいと思っています。
17	2層の書架を提案したところ予算の関係で承認されないだろうという話が出て、1層で建築して後から新しい機器が出たらその際に変更するか、最初からできるようにしたほうが良いのではないかという議論になっていた。現状の案ではどうなっているかわからない。	元々、地下は1層の計画でしたが、市民意見を受けて地下自体を2層に修正しています。市民意見を反映しながら徐々に修正してきた部分であることをご理解いただきたいと思います。
18	基本構想・基本計画のときに賑わいという言葉が盛んに出ていて、図書館がオールマイティにやる必要はない。図書館が虻蜂取らずにならないように考えてほしい。	基本計画の中で広場系と静寂系という考え方を整理しました。基本設計では基本計画を踏まえて検討しています。また、中央図書館が地域図書館を支えるという考え方も同様です。基本計画を着実に基本設計へつなげられるようにしたいと思います。
19	基本構想・基本計画の際には素案を公表して、パブリックコメントを行った。今回素案が出されていないのはなぜなのか。	ワークショップ及び市民説明会を各3回行っています。いただいた色々なご意見を踏まえながら最終版を作成しているところです。パブリックコメントを行わないのかというご意見ですが、この場も含めて市民の方々の意見をいただいているとご理解いただきたいと思います。
20	以前の多摩市に比べて実にじっくり市民の意見を聞き、意見交換をしたり意見を出せるようになってきたと評価している。ただ、ニーズがある一方で設計の制約もあり、説明会の期間が延びると色々な意見が出て、難しくなってしまうところもある。そこはバランスをとってほしい。ワークショップに参加した印象だと、市民が図書館という場を舞台として使って色々なことをやりたい、という意見が出た。	ワークショップの中では多くのご意見をいただき、設計に反映してきました。本日ご説明した内容は、まさに市民の思いが形になったものと考えています。

No.	意見・質問	回答
21	<p>色々な図書館を見ているが比較すると、多摩市の図書館のサービスは非常に高い。蔵書の揃え方も千代田図書館と遜色ない図書も入っている。ただ、先ほど話にあったように除籍の問題、今まで中央図書館がないためにどういうサービスをすればいいのか、きちんと答えが出されてこなかった問題点もあったと思う。サービスの部分については今年の秋から議論するという事なので、問題を市民に行き渡らせる必要がある。</p>	<p>除籍については廃棄基準や除籍基準を定め、それらに基づいて行っています。現在は貸出の回数や汚破損の状況や、閉架書庫の状況を見ながら作業を進めています。新本館は収蔵冊数も増えるため、今回ご意見を踏まえて対応を考えていきたいと思っております。</p>
22	<p>前回の説明会では体に障がいのある方、永山では目の不自由な方がいらっしゃっていて、率直な意見を述べられていた。市民活動の一環としてお互いに図書館を利用しやすくする場として色々な活動ができたら良いと思っている。 一方で夢がどんどん膨らんで欲張りになってきている。これは運営面に大きな負荷がかかってくると思う。</p>	<p>参考にさせていただきます。</p>
23	<p>障がい者手帳を持っていなくても、身体に不具合のある高齢者や、ベビーカーや小さい子どもを連れた人などに思いやりがほしい。ステッププラザや駐車場は足の悪い方でも利用できるのか。</p>	<p>ステッププラザについて、イベントの際は座っていただくこともあると思います。ステッププラザの一番下の段は階段を登らずに座れるようにし、車イスの方や階段を利用しづらい方はそちらに座っていただくなどの配慮をしていきたいです。 駐車場については敷地の制約がある中で思いやり駐車場を用意しています。</p>
24	<p>パルテノンの駐車場は一旦外に出て雨に濡れなければ入って来られないのは困る。何か駐車場から濡れずに来られるような配慮を考えてほしい。</p>	<p>一般の方はパルテノンの西駐車場を使っていただくことを想定しています。駐車場から一旦歩道に出て、図書館に入っていただくこととなります。雨に濡れないようにという要望ですが、駐車場の改修工事で図書館側に新たに出入口を設ける予定です。雨に濡れないように庇（ひさし）を設けるのは難しいですが、できるだけ濡れないように歩道の区間を短くする計画です。</p>
25	<p>建物が細長く、エレベーターが1か所しかないため、バリアフリーに配慮されていないように見える。色々な要望との兼ね合いも必要だと思うが、階段や細長い建物は体が不自由な身からすると恐怖である。</p>	<p>高低差のある敷地のため、階段やエレベーターは必要です。できるだけバリアフリーに配慮していきたいと思っております。</p>
26	<p>基本設計に意見を盛り込むにあたり、説明会をこの時期に行うことはタイミングに問題はないか。</p>	<p>多くの市民の皆さんと意見交換したいという思いからこの時期に開催しています。</p>
27	<p>市民活動やパートナーズスペースについてはパルテノン多摩が近くにあるのでそちらを利用すれば良いのではないか。図書館に流行りの部屋や設備を置く必要はなく、その代わりに閉架書庫を増やしたほうが良いのではないか。</p>	<p>ワークショップの中でも色々な意見がありましたが、この図書館は市民に開かれた図書館を目指しています。その中でパートナーズの方々の活動拠点がほしい、ボランティア活動がしたいという意見があり、設計に反映しています。市民活動室に関してもボランティアをはじめ図書館に関する活動をされる方々のための場所として用意する予定です。パルテノンを使用する際は基本的に有料ですが、図書館は図書館活動に関しては原則無料と考えています。この設計でも基本計画で定めた閉架書庫の冊数は収納できているので、これ以上の増設は考えていません。</p>

No.	意見・質問	回答
28	カフェについて。個人的には図書館での飲食は好まないが、カフェの機能は現時点でどのように予定されているか。	カフェがほしいという多くの意見をいただいているところですが、一方で匂いが気になるのでは等の心配されるご意見が出ています。多くの図書館でカフェを併設しているという実態もありますので、そのような状況や色々な方の意見を踏まえた上でカフェを設置する予定です。カフェの具体的な内容は今後決めていきたいと思えます。
29	閉架書庫を固定式ではなく移動式にし、中2階を設置したことへの配慮について伺いたい。	当初は地下を1階構成とする方向で検討していました。市民から職員用の事務室に自然光が入ったほうが執務環境が良くなるという意見をいただき、検討する中で、書庫ではなく建物自体の地下を2層にしました。その結果、地下の面積が減り、建設の際に持ち出す土砂や山止めが少なくて済むことから、費用が割安になることがわかりました。書庫は2段に重ねた場合、高すぎて職員が利用しづらいことから、1層で移動式の集密書架にしたほうが管理しやすいと考えています。
30	子どもを連れて図書館を利用している。コモンズや世代間交流など良いことだと思うが、図書館に小さな子どもを連れてくることは、本を借りたい一方で騒いでしまわないか、と緊張する。現在の本館は仕切られている場所になっているため安心する。新しい本館はオープンスペースになっているが、できれば仕切られた空間で子どもスペースがあると良い。	子どもを連れてきた際に騒いではいけないと言われることが図書館に来なくなる大きな原因になっていると考えています。公園につながる2階部分はそのような事が起こらないようにしたいです。基本計画では図書館を静寂系と広場系に分け、2階を広場系にしています。広場のように子どもと親がリラックスして過ごせるようにしていきたいと思えます。オープンなくつぬぎスペースやおはなし室もありますので、使いやすい場所を探してください。声の大きさについては静かにするのか騒いでも良いのか難しいところだと思います。市民の方が、実際に使いながら徐々に定まっていくと思っています。我々としては2階は議論したり子どもの泣き声も気にならないような場所として捉えており、市民の方々にご理解いただきたいと思えます。
31	新しいサービスが増える一方で、職員が減少している状況で大丈夫か。今から職員の仕事の仕方を変える必要もあるのではないか。地域館の休館日を増やしたり、現在毎日行っている連絡便を2日に1回に減らすなど、職員の仕事を今から減らしてサービスを行うようにしても良いのではないか。	永山・関戸図書館では来年の秋から、中央図書館では開館時から自動貸出機を導入したいと考えています。利用者自身が貸出手続きをしていただける機械なので、セルフサービスを進めることにより、職員にレファレンスや他の事務作業に取り組める余裕を創出していきたいと考えています。職員が十分かという問題に関して、多摩市の図書館は今後も直営で運営していく方針を掲げています。職員を育てていかないと図書館サービスは成り立たないというご指摘もいただいております。我々も課題でもあると捉えています。専門職としての図書館司書の採用のあり方をどうするか、職員をどう育成するか、計画的に進めるべく準備しているところです。良いサービスを今後も継続していくために必要な体制を検討しているところなのでご理解いただきたいと思えます。
32	大池のほうに擁壁があるが、この建物の地下擁壁の間についてどのように湿気等の対応をするのか。バルテノン多摩のように30～40年経ったら水漏れにより改修が必要になるといったことにならないか。コンクリートの建物はいま100年持つ。	設計している者としては100年持つ建物を作りたいと考えています。湿気対策として、空間をとりながら万が一水が入ったとしても処理できるようにし、また、空調機を設置することを考えています。地下の建築は今までも請け負ってきていますが、何か起こったときのためにメンテナンスしやすいような設計とすることが大切であり、徹底したいと考えています。

No.	意見・質問	回答
33	100年持つ建物を建てるということはどういうことか、考えたほうが良い。紙に対しての概念が変わると思うので、違う使い方ができるように、オープンで後から仕切れるような建物にしてほしい。	その時々時代の要請に応じて改修していけるような汎用的な建物にしたいと考えています。
34	みなが使いやすいようなわかりやすいサイン、大きめのものを設置してほしい。後から張り紙等で補足するようなことがないように、外国人を含め誰でもわかるような大きいものにすると、より多くの人が使いやすいくなるのではないか。	多くの方にとってわかりやすいサインにしたいと思います。
35	多摩中央公園を夜通るのが怖いので、図書館の開館時間以外にも通れる話があったが良いことだと思う。公園を見守ってくれるような建物となると良いと思う。	図書館の開館前や閉館後に建物の一部を部分開放して、予約本の受け取りなどができるようにすることを計画しています。具体的な開放時間等については今後検討していきたいと思っています。
36	感度を持っていないとこのような説明会やワークショップが行われているということを知る機会が少ない。新しい図書館で市の情報を知ることができるようにしてほしい。	行政情報については、現本館でも掲示板に掲載したり、チラシをおいたりしています。新しい図書館でも工夫していきたいと思っています。